

放射性核種分析装置

ゲルマニウム半導体分析装置

導入募金のお願い



(写真：森住 卓)

3月11日の大地震によって引き起こされた福島原発事故は、人々を故郷から追いやり、海や山、田畑を汚し、農と食に“放射能汚染”という難題を突きつけました。

農民連食品分析センターは、放射能分析に対応するために、高性能の放射線量分析装置（核種分析装置）を配備することを決めました。原発事故の現地である福島県にも機材を配備します。

機材の配備には多額の資金が求められています。私たちの決断にご理解をいただき、分析装置導入のための募金にご協力くださいますよう心から訴えます。

放射能を分析し
食の安全、健康を守る

農民運動全国連合会(農民連)

〒171-0022
東京都豊島区南池袋2-23-2 池袋パークサイドビル4F
TEL 03 (3590) 6759 FAX 03 (3590) 6953
<http://www.nouminren.ne.jp>
E-mail : info@nouminren.ne.jp

農民連食品分析センター

〒173-0025
東京都板橋区熊野町47-11 病体生理研究所内
TEL/FAX 03 (3959) 5660
<http://earlybirds.ddo.jp/bunseki/>
E-mail : power8@nouminren.ne.jp



核種分析装置(ゲルマニウム半導体分析装置)導入 のための募金のお願い

2011年6月

農民運動全国連合会 会長 白石 淳一
農民連食品分析センター 所長 八田 純人

3月11日に発生した大地震と津波、そして福島原発事故は、私たちがかつて経験したことのない未曾有の被害をもたらしました。多くの方が命を失い、家屋をなくし、難を逃れた被災者も生存権を脅かされています。

特に、収束の目途が立たない福島原発事故は、人々を故郷から追いやり、海や山、田畑を汚し続け、復興に立ちふさがっています。福島県では、農作物が放射性物質で汚染され、畜産農家はエサをやることもできず、家族同然の家畜をみすみす餓死させ、酪農家はエサを給与しながら牛乳を廃棄しています。茨城、千葉、栃木、群馬、さらには神奈川県などでも被害が発生しています。

地震・津波は、自然の脅威を私たちに実感させるに余りあるできごとでしたが、原発事故は明らかに“人災”であり、安全神話に浸かって安全対策を怠ったまま、原発を建設し、推進してきた東電と歴代の政府の責任は万死に値するといわざるをえません。

原発事故は、日本の農と食に“放射能汚染”という難題を突きつけることになりました。そして、国民の食の安全を守るために、放射能汚染への対応を政府や行政機関に委ねるだけでなく、市民運動にも備えが求められています。

農民連は、1996年に多くの皆様のご協力で食品分析センターを開設し、「食品の安全を守る」砦として奮闘してきました。そして、このたび、放射性物質の分析を行うために、全日本民医連や病体生理研究所をはじめ、広範な団体や専門家のご協力を仰ぎながら検討を進め、高性能の核種分析装置(ゲルマニウム半導体分析装置)を配備することを決定しました。原発事故の現地である福島県にも機材を配備することを決めました。農民連食品分析センターへの核種分析装置の配備は、土壌や農産物の汚染をチェックして安全・安心に貢献するとともに、広島、長崎に続いて繰り返された放射能汚染の実態とデータを長期にわたって計測して後世に残す役割を持っていると考えます。

この測定機器は、本体だけで1500~1700万円、関連機器や消耗品、設置費用、体制の構築を含めれば5000万円相当の資金が求められています。

農民連と農民連食品分析センターは、検査の要請に1日も早く応えられるよう全力をあげています。私たちの決断と志にご理解をいただき、「ゲルマニウム半導体分析装置」導入のための募金にご協力くださいますよう心から訴えるものです。

全国労働組合総連合議長
大黒 作治

エネルギーの80%を原発に頼るフランス。そのフランスのナショナルセンターであるフランス労働総同盟(CGT)から、全労連に東日本大震災に対する多額の義援金が寄せられました。全労連は、その全額を放射性核種分析装置導入の一部に充てます。世界に発信された「フクシマからの警告」を放射能汚染の実測で告発し、改善させる力にさせましょう。



日本大学専任講師・放射線防護学

野口 邦和



食の安全を監視するために、農民連に放射性核種分析装置が必要であると実感した人は多いと思います。この装置があれば、生産者の要望や不安に直ちに 대응することができるでしょうし、消費者の疑問や不安・懸念にも応えることができるでしょう。狭い国土に多数の原発を抱えている日本では、核種分析装置（ゲルマニウム半導体分析装置）は農民連にとって必要不可欠の装置です。早期に装置が導入できるよう心から願い協賛します。

切り取り線

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおとこと、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙

3万円以上
貼 付

印

この場所には、何も記載しないでください。

切り取り線

切り取り線



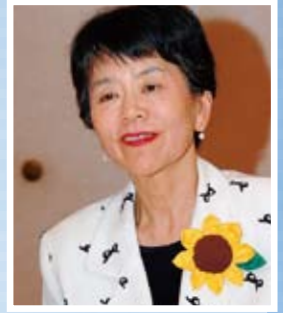
全日本民主医療機関連合会 会長
藤末 衛

東電と国が、国民が求める情報の提供を怠る中、福島県民や国民の中に言いようもない生活不安、健康不安が広がっています。私たち民医連もサーベイメーターなどを使った調査、健康相談、住民学習会を進めるなどしています。そんな時に、今回の提案は住民自らが放射性物質測定を行うという大きな意義があります。この取り組みをぜひ、力を合わせて成功させましょう。



新日本婦人の会 会長
高田 公子

農民連のみなさんが愛情込めて育てた大地で、安心・安全にこだわり農畜産物をつくっていることを、私たちは産直を通じて実感しています。今回の原発事故による放射能汚染で食品への不安、「風評被害」が深刻になっています。そのためにも正確な情報は欠かせません。その機材を分析センターが購入されるとうかがい、新婦人も募金に積極的に応えたいと思います。



切り取り線

02	東京	払込取扱票		通常払込料金 加入者負担	
口座記号番号				金額	
0	0	1	6	0	6
農民運動全国連合会分析センター				料金	備考
通信欄					
ご依頼人				日附印	
おとところ(郵便番号)				日	
おなまえ				附	
(電話番号)				印	

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)(承認番号東第46768号)
これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0	0	1	6	0	6	通常払込 料金加入 者負担
加入者名	農民運動全国連合会 分析センター						
金額	金額						
ご依頼人	おなまえ						
料金	日附印						
備考	備考						

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

切り取り線

この受領証は、大切に保管してください。